

# S-M社会生活能力検査 — 第3版 —

本検査は、社会生活能力を「自立と社会参加に必要な生活への適応能力」と定義し、子どもの日頃の様子から社会生活能力の発達を捉える検査です。  
知的障害や発達障害などの特徴をもつ子どもたちの指導への手がかりが得られます。



著 者：上野一彦、名越斉子、旭出学園教育研究所  
適用範囲：乳幼児～中学生  
実施時間：20分  
価 格：手引 5,400 円(本体 5,000円)  
検査用紙(20名分) 10,800 円(本体10,000円)  
発 行 年：2016 年

- ◆ 検査者が子どもを直接検査するのではなく、子どもの日常生活をよく知っている保護者や担任教師が回答します。
- ◆ 質問項目は発達年齢段階ごとに分かれていて、129項目で構成されています。
- ◆ 回答結果をもとに社会生活年齢(SA)と社会生活指数(SQ)が算出できます。
- ◆ SAはそれぞれの領域別に求めることができます。
- ◆ プロフィール欄へ領域別SAを描くことで、子どもの社会生活能力の特徴を視覚的に捉えることができます。

## 社会生活能力の測定領域

1. 身辺自立：SH (Self-Help)  
衣服の着脱、食事、排せつなどの身辺自立に関する能力
2. 移動：L (Locomotion)  
自分の行きたい所へ移動するための能力
3. 作業：O (Occupation)  
道具の扱いなどの作業遂行に関する能力
4. コミュニケーション：C (Communication)  
ことばや文字などによるコミュニケーション能力
5. 集団参加：S (Socialization)  
社会生活への参加の具合を示す能力
6. 自己統制：SD (Self-Direction)  
わがまを抑え、自己の行動を責任を持って目的に方向づける能力